

# SSC2.1 へアップグレードする場合の注意事項

対象バージョン: SSC2.1, 2.1 Update 1

## 概要

SSC1.1, 1.2または1.3からSSC2.1へアップグレードする際には、「SigmaSystemCenter 2.1 インストールガイド」の「3. アップグレードインストールを実行する」に記載された手順に加えて、下記のアップグレード手順に従ってください。下記の手順に従わず、「SigmaSystemCenter インストールガイド」に記載されている通常の手順でアップグレードインストールを行った場合、アップグレードインストールに失敗することがあります。

## 注意事項詳細

SSC1.xからSSC2.1へアップグレードインストールする場合、SystemMonitor性能監視のアップグレードインストールを実行する前に、以下の手順に従い利用しているデータベースの設定を確認してください。この手順を実施しないと、SystemMonitor性能監視のアップグレードインストール中に、「データベースファイルパスが見つかりませんでした。」というメッセージが表示され、アップグレードインストールが失敗することがあります。

1. コマンドプロンプトを起動します。
2. コマンドプロンプトから、以下のコマンドを実行します。

```
osql -E -S(local)¥<InstanceName> -Q "sp_helpdb N'RM_PerformanceDataBase2'"
```

---

**注:** <InstanceName>には、SystemMonitor 性能監視で利用しているデータベースのインスタンス名を指定してください。

---

3. RM\_PerformanceDataBase2.mdf、RM\_PerformanceDataBase2\_log.ldfについて出力結果の"filename"の項目を確認します。
4. 以下のファイルをテキストエディタ等で開きます。

```
<SystemMonitor 性能監視インストールフォルダ配下>¥bin¥rm_database.xml
```

---

**注:** 既定値は (%Program Files%¥NEC¥SystemMonitorPerformance) です。

---

5. DataBaseFilePathタグに記載されているパスと、3の実行結果のファイルパスが一致することを確認します。
6. 一致しない場合、rm\_database.xmlファイルのDataBaseFilePathタグの内容を3の出力結果と一致するように編集し、保存します。

例) <DataBaseFilePath>C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server ¥MSSQL.1¥MSSQL¥Data  
</DataBaseFilePath>

---

**注:** ファイル名は含めません。

---

作成日: 2008/11/25